自立・自己実現
①生活習慣と規則を守る力
②仲間とともに高まる力
③自ら学び、考え、判断する力

学校だより DREAM

茨木市立西中学校
5月　№3
発行責任　田中義明

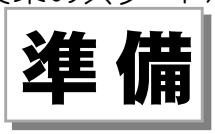
5月 月間目標 準備・構え・礼・聴く J4にこだわる

もう、5月になりました。クラスの目標が決まり、ゴールに向けて、どのクラスもいいスタートが切れましたか？1年後にはどんな姿になっているのか、みなさんには少し見えたでしょうか。

さて、5月の月間目標は「準備・構え・礼・聴く」です。これは Ｊ４ですね。生徒会がつくってくれた Ｑ ＆ Ａ 集には『Ｊ４は授業規律の合言葉。準備・構え・礼・聴く。特に「礼」のあとの「聴く」を意識し、クラスみんなで学習に向かう気持ちを大切にしましょう。』と書いてくれています。

Ｊ４では、「準備」は授業の準備をしておくこと。「構え」は心の準備。「礼」はこれから一緒に授業を創っていくお互いに尊敬の念をもつこと。「聴く」は授業の最初が先生の第 1 声ではじまるように、皆さん一人ひとりが意識して、自分たちの力で、授業のはじまりをつくっていこうということです。

授業の始めに、どれも大切なJ4ですね。
その中で「聴く」ということについては、これまでも話してきました。
「聴」という漢字は、「耳」だけで聴くのではなく、「耳」に加えて右側に「十四」の「心」がついています。すなわち、十四の心をこめて、集中して相手の話を聴くという言う意味があります。また、「十」の「目」をもって真剣にまなざしを向け、「心」を込めて聴くという意味もあります。集中して聴くことで、先生も生徒も気持ちよく授業のスタートがきれ、教室が安心できる場所になります。



次に「準備」についてのことです。

授業の準備は何のためにしますか。もちろん、今から始まる授業に必要なものをいつでも、使える状態にしておく方が、授業にスムーズに入っていくことができますね。

でも、それだけではありません。家で教科書を読んでくること、新しい漢字を練習してくることも準備です。どんなことでも、得意な人ってあまりいませんね。勉強が得意でも運動は苦手、反対もあります。運動の中では走ることは得意でも、球技は苦手など。何でもできる人は少ないものです。でも、テスト（入試）などのように苦手だからではすまないこともあります。だから、それまでに（受験）勉強という準備をしっかりやり、本番で失敗しないように備えていきます。例えば、人の前で話すことが苦手な人は、話すことをあらかじめ考えて書いておくことも大切です。

失敗をしないため、苦手なことを克服するために準備は行います。そのことによって勉強ができるようになったり、できなかったことができるようになったりするのです。

皆さんも、明日から J4 をしっかり意識してください。勉強がわかりたい自分、もっとよくなりたい自分を実現するためには、準備が必要です。自分たちの力でJ4を達成してください。

4月14日 部活紹介 5月1日 部活発会式

4月14日、1年生の楽しみに待っていた部活紹介が行われました。

吹奏楽部の演奏から始まり、各部活動、活動内容やユニフォームの紹介などコンパクトに紹介をしてくれました。

約2週間の仮入部期間を経て、いよいよ部活発会式が5月2日に行われました。いよいよ3学年そろって部活がスタートします。発会式には以下の話をしました。

『部活動では、試合に勝ったり、コンクールに入賞することだけが目的ではありません。

部活動を通じて個々を高かめ、集団の力をつけてほしいです。

①学級活動や生徒会活動が優先です。学校生活が充実していることが大切です。

②ルールを守ること。どんな競技にもルールがあります。

③あいさつをすること。あいさつは人とつながる第一歩。

中学校の3年間の間にみなさんは、心と体がとても成長します。2•3年生の皆さんは、先輩としての自覚をもって、1年生が早く馴染めるよう導いてほしいと思います。

それぞれの教室に集まった皆さんは、少し緊張感があって、真剣に先生の話を聴く表情は、とても引き締まって見え、今年1年間頑張るぞという気持ちが伝わってくるようでした。発会式終了後、多くの人たちが「こんにちは！」とあいさつしてくれたのがとても印象に残りました。1年後にはあいさつするのが、当たり前になっていてほしいと思います。